

第4章：逆算式タロット鑑定3ステップ

タロット占いの大まかなやり方について理解できたかと思います。

ここからはさらに具体的にメール鑑定のやり方について解説していきます。

・大まかな流れ

- ①相談文を読んで方針を決める（感情の読み取り）
- ②タロットカードを引いて解釈
- ③テンプレートに当てはめて文章を完成

・ステップ1：鑑定の方針を決める（感情の読み取り）

相談文を読んで相談者の意図をくみ取り、鑑定の方針（ゴール）を決めます。

重要なのは、**占い師の先入観は排除すること**です。

個人的な価値観は捨て去り、フラットな気持ちで相談文を読みましょう。

自分が味方になってあげる、親友の相談を受けるような感覚が近いかもしれません。

相談文から読み取ることは主に以下の4点です。

- 第一印象
- 悩みの内容
- 鑑定してほしいこと（顕在欲求と潜在欲求）
- 相談者が望む未来（鑑定のゴール）

◎第一印象

相談文に目を通したら、まずはそこから感じられたこと、第一印象をメモしてみましょう。

例)

出会いや友人に恵まれず、結婚ができなくて辛そう。

このままだと高齢になって結婚が遠のきそうで、将来が不安なのは。

例)

仕事がきつくてまともに休むこともできずに毎日が辛そう。

穏やかな性格で、言いたいことを言えなさそうなタイプなので、どんどんストレスがたまっているのだろう。

例)

純粋に運勢を知りたいだけかな？

不安の解消よりも鑑定結果を重視してそう。

◎悩みの内容

当たり前ですが、悩みの内容と鑑定結果が合致していないと相談者は満足しません。

長々とまとまりのない相談文を書く相談者もありますが、悩みの内容をくみ取ってまとめてあげることが大切です。

例)

転職について悩んでおり、どうすればいいかわからない状況。

今の現状を変えたいため、人間関係や仕事について改善する方法や、転職をしても大丈夫なのかが知りたい。

例)

不倫について悩んでおり、不倫相手がどう思っているか、この不倫の行方がどうなるか、不倫がパートナーにバレていないか知りたい。

例)

復縁をしたいけど、彼に対してメッセージを送ってもいいか悩んでいる。

復縁する方法や、復縁すべきかについて知りたい。

◎鑑定してほしいこと（顕在欲求と潜在欲求）

相談者が「～について鑑定してください」と書いている場合であっても、ただ字義どおりに鑑定すればいいというものではありません。

相談者本人が自覚している「顕在欲求」のほかに、相談者ご本人も気づいていない**「潜在欲求」**というものがあるからです。

顕在欲求は、相談者本人が「恋の行方を知りたい」「彼の気持ちを知りたい」といったことを伝えてくるので明確です。

それに対して潜在欲求とは、本人も自覚がない、あるいは言葉にはしていないけれど何かしらの欲求があるような状態です。

この潜在欲求をくみ取れると、相談者の心に響く質の高い鑑定を作成することができるようになります。

例)

悩みがあるけど誰も自分の悩みを理解してくれない。

自分のことを分かってほしい。

例)

不倫をした際、自分が悪者になるのはイヤ。

味方が欲しい。

例)

人に言えない悩みを抱えるのは辛い。

吐き出してスッキリしたい。

◎相談者が望む未来（鑑定のゴール）

ここまで読み取ってきたことも踏まえながら、相談者がどんな未来や解決を望んでいるか、この鑑定のゴールを見立てます。

相談者によって占いに求めていることはさまざまです。

- 未来の結果を知って、これからの行動の参考にしたい。
- 悩みに対してどうすればいいかわからず、その答えを求めている。
- 現状の悩みに対して自分の選択肢が正しいのか知りたい。
- 誰にも言えない悩みで、不安や悩みを解消したい。
- 将来自分が幸せになるのか知りたい。嫌な未来を見たくない。

鑑定結果を知りたい人の中でも、

- 鑑定結果を参考にしたい
 - 自分の行動の後押しをしてほしい
 - 未来の結果を知って不安を解消したい
 - どうすればいいかわからず占いにすがりたい
- などさまざまです。

相談者の第一印象や悩みなどをしっかり読み取り、どんな解決・結果を望んでいるのか想定をし、そのゴールに向かってカードの解釈をしていきます。

ステップ2：質問項目ごとにカードを引く

ステップ①で見立てた方針やゴールに沿うように、占う項目を決めてカードを引いていきます。

最初のうちは、1項目につき大アルカナのカードを1枚引けば十分です。

全体としては**3枚～4枚引きがやりやすい**です。

恋愛の相談であれば

- あなた（相談者）の気持ち
- 相手の気持ち
- 2人の未来
- アドバイス

仕事の相談であれば

- 過去
- 現在
- 未来
- アドバイス

という引き方がどんなお悩みにも使えるのでおすすめです。

ちなみにカードの引き方（展開のしかた）を**「スプレッド」**と呼びます。

スプレッドには、

- ワンオラクル（1枚引き）
 - スリーカード（3枚引き）
- などの基本的な型のほか、
ヘキサグラム、ギリシャ十字、二者択一などさまざまなタイプがあります。

もちろん、覚える必要はないですし、使いこなせる必要もないです。

最初のうちは、知りたい項目1つにつき1枚引く「一問一答」のような形でカードを引いていくのが分かりやすいでしょう。

カードを引いたら意味を調べて、鑑定のゴールに合ったキーワードやフレーズを選びます。

1枚ずつ引いて解釈していくより、3枚なり4枚なりを**最初にまとめて引いて、全体としてのストーリーや構成を作る方がおすすめです。**

ステップ3：テンプレートに沿って文章にまとめる

ここまでで鑑定のゴールと鑑定内容の筋書きができました。

あとはテンプレートに沿って文章に落とし込むだけです。

お客様の心に響く鑑定文の書き方にはコツがあります。

テンプレートに当てはめていくことで、初めてでも一定基準の鑑定文が書けるのです。

次章でテンプレートについて詳しく説明していきます。

